

## 解決すべき課題と狙い

### ■解決すべき課題

曾野木地域の地域別実行計画では、次の課題の解決を目指して、様々な取り組みを進めます。

- 将来世代に財政負担を軽減していくことと、地域に必要な公共サービスを維持・改善していくことを両立していくためには、公共施設の整備と運営をどう効率化していくべきか？
- 「子育てしやすいまち」、「若い世代が住みやすいまち」を目指すために、公共施設の機能は何か必要か、配置はどのような形のものを実現すると良いか？老朽化する保育園の再配置をどのような形で実現すると良いか？
- 地域の一体感、中心性の確保、賑わいの創出をどう実現していくべきか？中学校区全体で1つの拠点を整備していくのが良いか？公民館周辺と市営住宅跡地周辺のそれぞれに拠点施設が配置されている方が良いか？
- 高齢者や障がい者も安心安全で元気に過ごせるまちとするには、どのような機能が公共施設に必要なか？
- **安全安心な地域とするために避難所機能をどう配置すべきか？**

## ■ 課題解決の狙い

公共施設の課題を解決することで、次の6つの点を達成することを狙いとします。

【課題】

【狙い】

負担の公平性やバランス



①過度な財政負担が将来世代に残らない

公民館周辺と団地周辺の  
相互の交流の不足



②地域のまとまり  
一体感を醸成する



子育て支援機能の充実  
既存保育園の老朽化



③子育てしやすいまちをつくる



子ども・若者・高齢者・障がい者に  
使いやすい機能の不足



④若者・高齢者・障がい者の  
居場所をつくる



地域活性化に資する施設の不足



⑤地域住民が集え地域外からも  
人を呼び込める施設をつくる



施設へのアクセス・  
利便性低下への懸念



⑥アクセスしやすい公共施設配置とする

安全・安心のため機能確保



⑦地域に必要な避難所機能を維持する

## 【参考】課題解決のための諸方策

課題解決のための対策案を検討するために、下表のような諸々の方策を検討しました。対策案の検討においてこれらの方策を組み合わせで用います。

課題解決の狙い	課題解決の諸方策と施設配置の方向性（アイデア）	期待する効果
①過度な財政負担が 将来世代に残らない	複合化・多機能化などで規模（面積）を減らす	維持運営コストが減る 改修改築コストが減る 収入（財源）の確保
	1つの空間を複数目的や対象者で共有して稼働を高める	
	利用料などで収入を確保する、コストを削減する	
	空いた土地や建物を売却・貸付する	
	民間活力を積極的に導入する	
②地域のまとまり 一体感を醸成する	地域全体の住民が集える拠点施設をつくる	地域の活動の活性化
	近隣の住民が気軽に頻りに集える施設をつくる	
	・・・	
③子育てしやすいまち をつくる	利用しやすい保育園の整備（定員増・駐車場整備）	子育て世代の人口増加 子育てを地域でサポート 多世代交流が生まれる
	子どもの居場所を確保する	
	多世代交流が図れる施設を設ける	
	保育園以外で親子が集える場を設ける	
④若者・高齢者・ 障がい者の居場所を つくる	学生の居場所を確保する	若者の人口流出を防ぐ 健康維持につながる 多世代交流が生まれる
	高齢者・障がい者が集えるスペースを設ける	
	小学校区毎に子どもの居場所を確保する	
⑤地域住民が集え 地域外からも人を 呼び込める施設を つくる	地域外の人を呼び込める起爆剤を設ける（大学などの誘致）	地域の活性化 にぎわいの創出
	子育てしやすい環境をつくる	
	民間活力を導入する	
	・・・	
⑥アクセスしやすい 公共施設配置とする	ワンストップサービスを実現する	利用しやすくなる 利用者数・利用率の向上
	公共交通網を整備する、駐車場を確保する	
	近距離で通える施設配置とする	
	経路の安全性が確保されている	
⑦地域に必要な避難所 機能を維持する	地域に必要な避難所機能（防災拠点）を維持、確保する	安全安心の確保
	・・・	